

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成30年1月18日 (2018.1.18)

【公表番号】特表2016-539839(P2016-539839A)

【公表日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-069

【出願番号】特願2016-526840(P2016-526840)

【国際特許分類】

B 6 2 J 99/00 (2009.01)

B 6 2 J 17/00 (2006.01)

B 6 2 J 33/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 J 99/00 G

B 6 2 J 17/00 A

B 6 2 J 99/00 L

B 6 2 J 33/00 A

B 6 2 J 99/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月8日 (2017.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハウジング要素 (1 3 3 0) と、

該ハウジング要素内に画成された吸気口 (1 3 7 0) と、

該ハウジング要素内に画成された空気出力部 (1 3 7 2) と、

該吸気口を該空気出力部につなぐエアクリーニング経路であって、その中に設けられた
エアクリーナー (1 3 3 2) を含むエアクリーニング経路と、

該ハウジング要素と一体形成されたエアディフレクタ (1 2 5 0) であって、周囲空気を
受け入れるように配置されたディフレクタ入力部 (1 2 5 2) を含み、前記エアクリー
ニング経路とは異なるエアディフレクタ経路を備えているエアディフレクタと、
を備えるオートバイのエアクリーナーハウジング。

【請求項 2】

吸気口をさらに含み、前記エアディフレクタは、オートバイに結合された際に、前記吸
気口よりも低い位置に配置されるように構成されている、請求項 1 に記載のオートバイハ
ウジング。

【請求項 3】

前記エアディフレクタは、前記ディフレクタ経路から大気中へ空気を排出するように配
置されたディフレクタ出力部 (1 2 5 4) をさらに含む、請求項 1 に記載のオートバイハ
ウジング。

【請求項 4】

前記ハウジング要素は、エアクリーナーカバー (1 3 3 4) をそれに結合するように機
能するカバーマウント (1 3 7 4) をさらに含む、請求項 1 に記載のオートバイハウジ
ング。

【請求項 5】

前記エアディフレクタは、前記ディフレクタ入力部から前記エアディフレクタ経路に沿って前記ディフレクタ出力部まで空気を送るような形状で形成される、請求項４に記載のオートバイハウジング。

【請求項６】

前記エアカバークリーナーが前記ハウジング要素に結合された場合、前記エアディフレクタ経路は、該エアクリーナーカバーの周囲に沿って進む、請求項５に記載のオートバイハウジング。

【請求項７】

使用され、およびオートバイフレーム（４）に結合されると、前記エアディフレクタは、前記ハウジング要素の下端部に配置される、請求項１に記載のオートバイハウジング。

【請求項８】

使用され、およびオートバイフレーム（４）に結合されると、エアディフレクタ出力部（１２５４）が、前記ハウジング要素の後端に配置される、請求項１に記載のオートバイハウジング。

【請求項９】

使用され、およびオートバイフレームに結合されると、エアディフレクタ出力部（１２５４）は、そこから出る空気が、エンジンシリンダヘッド（１１７０、１１７２）に接触するように配置される、請求項１に記載のオートバイハウジング。

【請求項１０】

前記シリンダヘッドは、少なくとも２つのシリンダを有するエンジンの後方シリンダヘッド（１１７２）である、請求項９に記載のオートバイハウジング。

【請求項１１】

前記エアディフレクタは、前記オートバイに組み付けられると、該オートバイのエンジン（１２）のシリンダヘッド（１１７０、１１７２）に対して横方向に隣接するディフレクタ出力部（１２５４）を含む、請求項１に記載のオートバイハウジング。

【請求項１２】

フレーム（４）と、

該フレームを支持する前輪および後輪（６、８）と、

該後輪に駆動可能に接続された伝動機構（１０）であって、該伝動機構が、少なくとも第１および第２のシリンダ（１１７０、１１７２）を有する内燃エンジン（１２）を含み、第２のシリンダが、第１のシリンダの後方に位置している伝動機構と、

エアクリーナー（１３３２）と、

周囲空気を受け入れる吸気口（１２５２）を含むエアディフレクタ（１２５０）であって、該エアディフレクタが、該吸気口から空気出力部（１２５４）までの空気経路を画成し、該空気出力部が該後方シリンダに隣接して配置されているエアディフレクタと、を備えるオートバイ（２）。

【請求項１３】

前記吸気口は、前記後方シリンダの前方に配置される、請求項１２に記載のオートバイ。

【請求項１４】

前記空気出力部は、前記後方シリンダの横方向に隣接する、請求項１２に記載のオートバイ。

【請求項１５】

前記空気出力部は、前記後方シリンダの最後尾の前方にある、請求項１２に記載のオートバイ。

【請求項１６】

前記エアディフレクタは、前記エアクリーナーへの接続を介して上から吊るされる、請求項１２に記載のオートバイ。

【請求項１７】

自動車（２）用風防アセンブリ（１６５０）であって、

上端部（１６５６）と、下端部（１６５８）と、側縁部（１６６０、１６６２）とを有する風防（１６５２）と、

該下端部に隣接する、該風防への第１の取付け箇所（１６６６e、１６６８e）および該第１の取付け箇所の上に垂直方向に配置された、該風防への第２の取付け箇所（１６６６g、１６６８g）と、

前記第１の取付け箇所より垂直方向上方に位置するとともに前記自動車のハンドルバーと相補的な軸を有するマウント（１６８０、１６８２）と、

前記自動車の第２の箇所に取り付け可能なクランプ（１６８６、１６８８）と、
を備えるブラケットアセンブリ（１６５４）と、
を備える風防アセンブリ。

【請求項１８】

前記ブラケットアセンブリは、２つのブラケット部（１６６６、１６６８）を備え、各ブラケット部は、前記風防の内側面に配置される、請求項１７に記載の風防。

【請求項１９】

各ブラケットは、細長いブラケットフレーム部（１６６６a、１６６８a）を有し、該ブラケットフレーム部は、前記第１および第２の取付け箇所を支持する、請求項１８に記載の風防。

【請求項２０】

各ブラケットフレーム部は、概して垂直方向に延びている部分（１６６６b、１６６８b）と、角度の付いた部分（１６６６c、１６６８c）とを含む、請求項１９に記載の風防。

【請求項２１】

前記概して垂直方向に延びている部分は、前記風防の垂直方向の中心線の両側で該風防に結合される、請求項２０に記載の風防。

【請求項２２】

前記第１の取付け箇所は、前記概して垂直方向に延びている部分の下方端部によって支持される、請求項２１に記載の風防。

【請求項２３】

前記クランプは、垂直方向で、前記第１の取付け箇所よりも高く配置される、請求項２２に記載の風防。

【請求項２４】

各角度の付いた部分は、前記風防の側縁部に向かって角度が付けられている、請求項２０に記載の風防。

【請求項２５】

前記第２の取付け箇所は、前記角度の付いた部分の外側端部によって支持される、請求項２４に記載の風防。

【請求項２６】

前記マウントは、垂直方向で、前記第２の取付け箇所よりも低く配置される、請求項２５に記載の風防。

【請求項２７】

各ブラケットフレーム部は、前記マウントの一方を支持するブラケットアーム（１６９０、１６９２）を有する、請求項１９に記載の風防。

【請求項２８】

各ブラケットアームは、前記風防の垂直方向の中心線に向かって前記マウントを押す、請求項２７に記載の風防。

【請求項２９】

前記マウントは、ファスナーによって前記自動車のハンドルバーに結合し、および前記クランプは、ファスナーを用いることなく、前記自動車上の前記第２の箇所に結合する、請求項１７に記載の風防。

【請求項３０】

フレーム（４）と、
該フレームを支持する前輪および後輪（６、８）と、
該後輪に駆動可能に接続された伝動機構（１０）と、
該前輪に結合された、オートバイを操縦するためのステアリングアセンブリ（２０）であって、該前輪に結合されたフロントフォーク（７２）と、該フロントフォークに結合されたハンドルバー（２８）とを備えるステアリングアセンブリと、
アッパーフェアリング（５０）と、
該フレームに結合されたロアーフェアリング（６６）と、
該ロアーフェアリングの上方部における左右のディフレクタ（２２０Ａ、２２０Ｂ）であって、該ロアーフェアリングの実質的に背後の解放位置と、空気をそこでライダーからそらす、該ロアーフェアリングへの上部延長部を提供する閉鎖位置との間で移動可能であるディフレクタと、
を備えるオートバイ（２）。

【請求項３１】

前記ディフレクタは、前記自動車の概して長手方向の軸（１４００）の周りに結合され、および前記自動車に対して概して横方向の平面内で回転する、請求項３０に記載のオートバイ。

【請求項３２】

前記ロアーフェアリングは、前記フロントフォークに隣接する位置まで延びている、請求項３０に記載のオートバイ。

【請求項３３】

前記ロアーフェアリングは、前記フロントフォークにつながる輪郭面（２５０）を有する、請求項３２に記載のオートバイ。

【請求項３４】

前記輪郭面は、前記フロントフォークにつながる概して凹状である、請求項３３に記載のオートバイ。

【請求項３５】

前記輪郭面を介して配置された通気口（２２２）と、前記通気口を覆って配置された可動カバー（３５０）とをさらに備える、請求項３３に記載のオートバイ。

【請求項３６】

前記可動通気口カバーと、前記ディフレクタは、前記可動通気口カバーおよびディフレクタの少なくとも一つの位置で重なる、請求項３５に記載のオートバイ。

【請求項３７】

前記ディフレクタは、独立して動くことが可能である、請求項３０に記載のオートバイ。

【請求項３８】

前記アッパーフェアリングと前記ロアーフェアリングは交差し、前記ディフレクタは、その交差部に隣接して配置される、請求項３０に記載のオートバイ。

【請求項３９】

前記ディフレクタは、前記ロアーフェアリングに結合される、請求項３８に記載のオートバイ。

【請求項４０】

- （ａ）前記アッパーフェアリングは、最大幅 D_1 を有し、
- （ｂ）前記ロアーフェアリングは、最大幅 D_2 を有し、
- （ｃ）前記交差部における前記アッパーフェアリングおよび／または前記ロアーフェアリングの幅は、最大幅 D_3 を有し、
- （ｄ）前記閉位置における前記ディフレクタの外側面までの幅は、最大幅 D_4 を有し、
- （ｅ） D_4 は D_3 よりも大きい、請求項３８に記載のオートバイ。

【請求項４１】

D_1 は、 D_2 に実質的に等しい、請求項４０に記載のオートバイ。

【請求項 4 2】

D₂ は D₃ よりも大きい、請求項 4 0 に記載のオートバイ。

【請求項 4 3】

フレーム (4) と、

該フレームを支持する前輪および後輪 (6 、 8) と、

該後輪に駆動可能に接続された伝動機構 (1 0) と、

該前輪に結合された、オートバイを操縦するためのステアリングアセンブリ (2 0) であって、該前輪に結合されたフロントフォーク (7 2) と、該フロントフォークに結合されたハンドルバー (2 8) とを備えるステアリングアセンブリと、

前記フレームに結合された、前記フロントフォークにつながる輪郭面 (2 5 0) を有するロアーフェアリング (6 6) と、

該ロアーフェアリングの上方部における左右のディフレクタ (2 2 0 A 、 2 2 0 B) であって、該ロアーフェアリングの実質的に背後の位置と、該ディフレクタが空気をそこでライダーから離してそらす、該ロアーフェアリングへの延長部を形成する位置との間で移動可能であるディフレクタと、
を備えるオートバイ (2) 。

【請求項 4 4】

前記ディフレクタは、前記ロアーフェアリングに結合される、請求項 4 3 に記載のオートバイ。

【請求項 4 5】

前記ディフレクタは、前記自動車の概して長手方向に延びている軸 (1 4 0 0) の周りに結合され、および前記自動車に対して概して横方向の平面内で回転する、請求項 4 3 に記載のオートバイ。

【請求項 4 6】

前記ロアーフェアリングは、前記フロントフォークに隣接する位置まで延びている、請求項 4 3 に記載のオートバイ。

【請求項 4 7】

前記輪郭面は、前記フロントフォークにつながる概して凹状である、請求項 4 6 に記載のオートバイ。

【請求項 4 8】

前記輪郭面を介して配置された通気口 (2 2 2) と、前記通気口を覆って配置された可動カバー (3 5 0) とをさらに備える、請求項 4 7 に記載のオートバイ。

【請求項 4 9】

前記可動通気口カバーと、前記ディフレクタは、前記可動通気口カバーおよびディフレクタの少なくとも一つの位置で重なる、請求項 4 8 に記載のオートバイ。

【請求項 5 0】

前記ステアリングアセンブリまたはフレームに結合されたアップパーフェアリング (5 0) をさらに備える、請求項 4 3 に記載のオートバイ。

【請求項 5 1】

前記アップパーフェアリングと前記ロアーフェアリングは交差し、前記ディフレクタは、その交差部に隣接して配置される、請求項 5 0 に記載のオートバイ。

【請求項 5 2】

フレーム (4) と、

該フレームを支持する前輪および後輪 (6 、 8) と、

該後輪に駆動可能に接続された伝動機構 (1 0) と、

該前輪に結合された、オートバイを操縦するためのステアリングアセンブリ (2 0) であって、該前輪に結合されたフロントフォーク (7 2) と、該フロントフォークに結合されたハンドルバー (2 8) とを備えるステアリングアセンブリと、

前記フレームに結合されたロアーフェアリング (6 6) と、

該ロアーフェアリングの上方部における左右のディフレクタ (2 2 0 A 、 2 2 0 B) で

あって、ライダーに対する空気流を可能にする位置と、空気を該ライダーから離してそらす位置との間で移動可能であるディフレクタと、

前記ロアーフェアリングを貫通して延びている通気口（２２２）と、
を備えるオートバイ（２）。

【請求項５３】

前記通気口を覆って配置された可動通気口カバー（３５０）をさらに備える、請求項５２に記載のオートバイ。

【請求項５４】

前記可動通気口カバーと、前記ディフレクタは、前記可動通気口カバーおよびディフレクタの少なくとも一つの位置で重なる、請求項５３に記載のオートバイ。

【請求項５５】

前記ディフレクタは、前記ロアーフェアリングに結合される、請求項５２に記載のオートバイ。

【請求項５６】

前記ディフレクタは、前記自動車の概して長手方向に延びている軸（１４００）の周りに結合され、および前記自動車に対して概して横方向の平面内で回転する、請求項５２に記載のオートバイ。

【請求項５７】

前記ロアーフェアリングは、前記フロントフォークに隣接する位置まで延びている、請求項５２に記載のオートバイ。

【請求項５８】

前記輪郭面は、前記フロントフォークにつながる概して凹状である、請求項５７に記載のオートバイ。

【請求項５９】

前記ステアリングアセンブリに結合されたアッパーフェアリング（５０）をさらに備える、請求項５２に記載のオートバイ。

【請求項６０】

前記アッパーフェアリングと前記ロアーフェアリングは交差し、前記ディフレクタは、その交差部に隣接して配置される、請求項５９に記載のオートバイ。

【請求項６１】

フレーム（４）と、

該フレームを支持する前輪および後輪（６、８）と、

それらの車輪の一方に駆動可能に接続された伝動機構（１０）と、

該前輪に結合された、オートバイを操縦するためのステアリングアセンブリ（２０）であって、運転者の手のためのハンドグリップ（２１２、２１４）を有するハンドルバー（２８）を備えるステアリングアセンブリと、

少なくとも一つのセンサ（９８２、９８４）

各ハンドグリップ内または前記ハンドルバー内のヒータ（９９２、９９４）であって、前記センサからフィードバックを受取って、温度を一定の制御された温度に維持するヒータと、

を備える自動車（２）。

【請求項６２】

前記センサは、前記ハンドグリップ温度を監視するための、ハンドグリップにおける、または前記ハンドルバー内の温度センサと、周囲温度センサと、速度センサのうちの一つである、請求項６１に記載の自動車。

【請求項６３】

前記温度センサはサーミスタである、請求項６２に記載の自動車。

【請求項６４】

車両制御モジュール（９０２）またはエンジン制御モジュール（９０４）をさらに備える、請求項６１に記載の自動車。